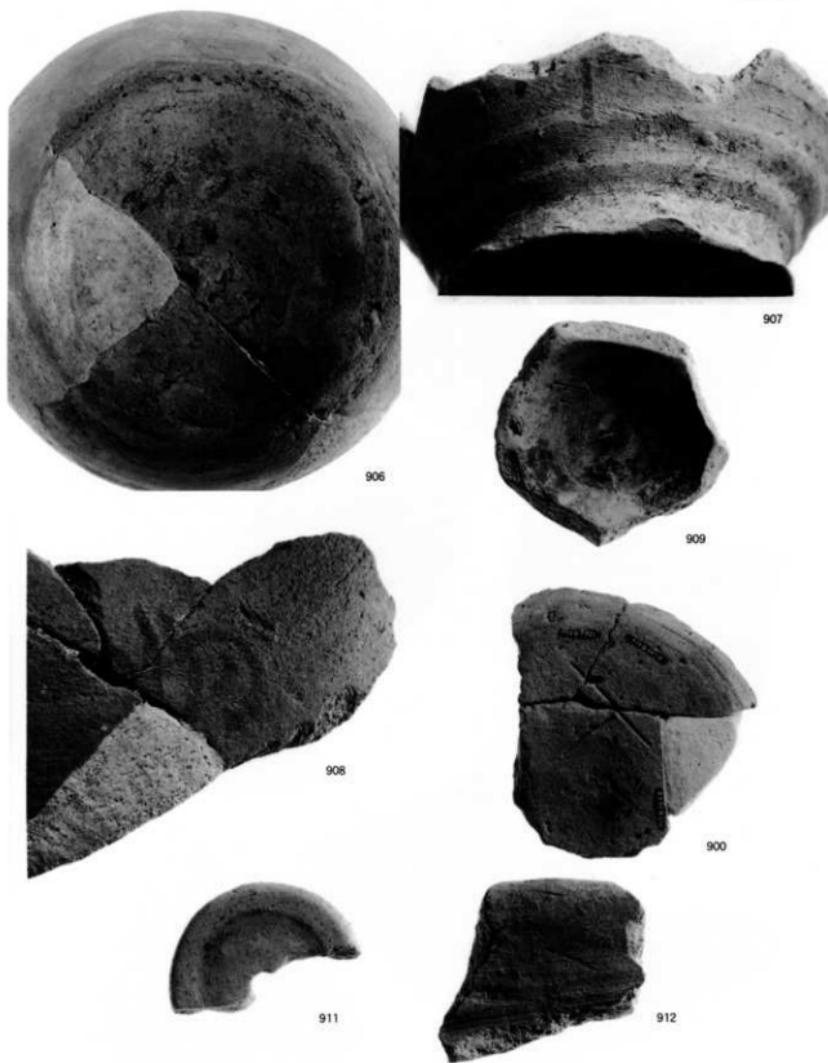
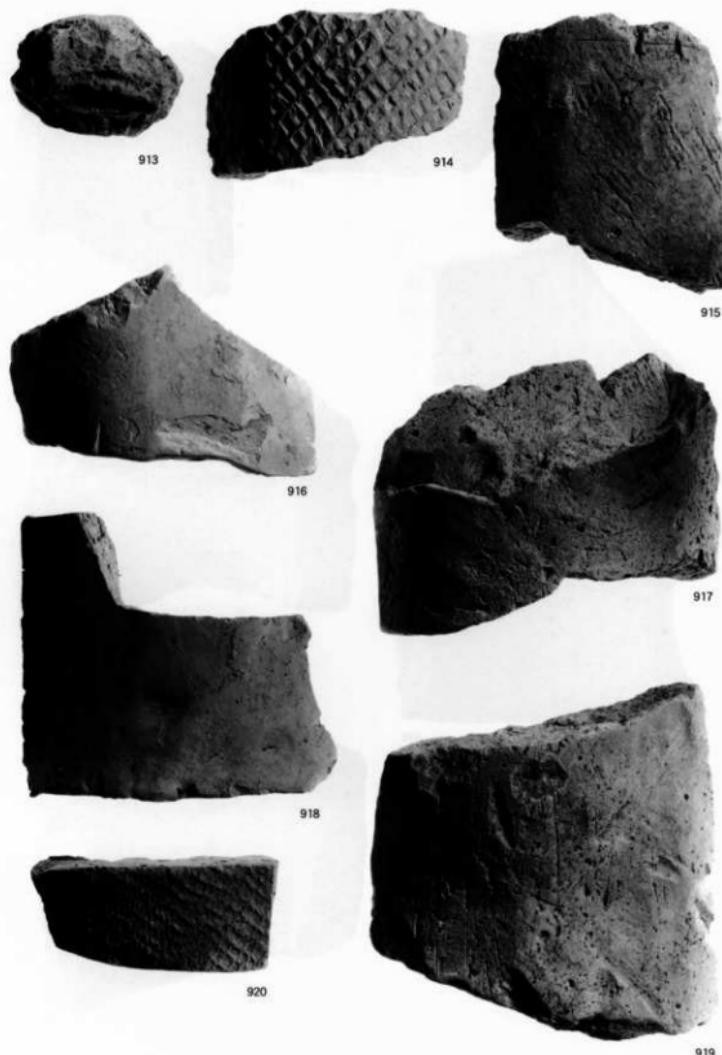


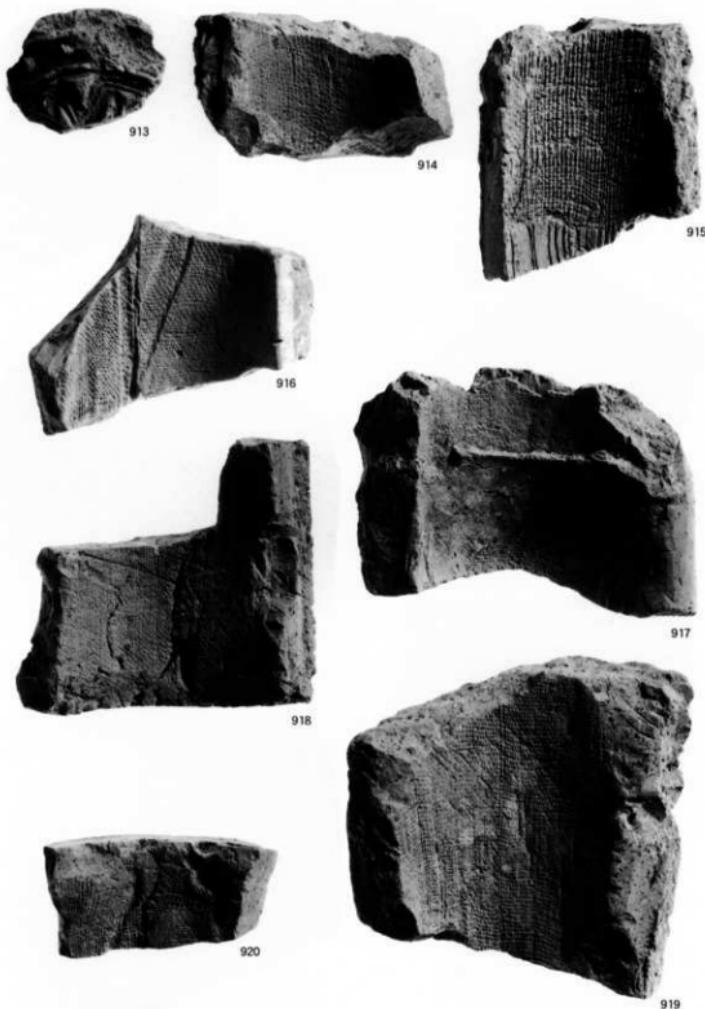
平安時代の遺物 (5)



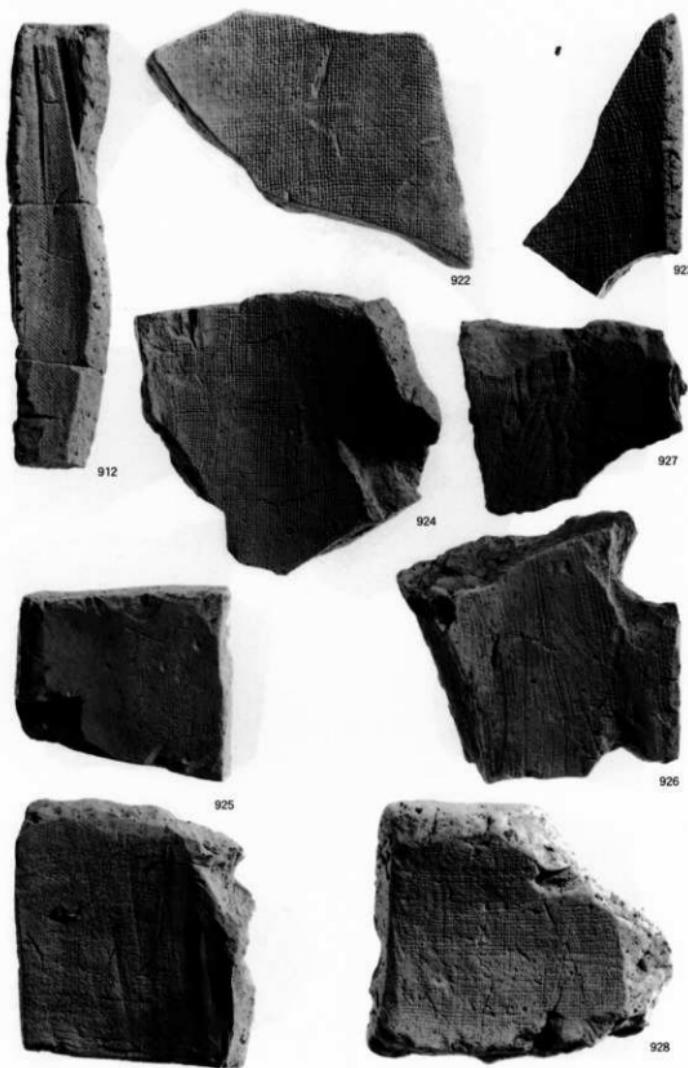
平安時代の遺物 (6)



平安時代の遺物 (7)



平安時代の遺物（7の裏面）



平安時代の遺物 (8)



平安時代の遺物（8の裏面）



906



907



929



940



943



944

平安時代の遺物 (9)



943・944の出土状況



古道1検出状況



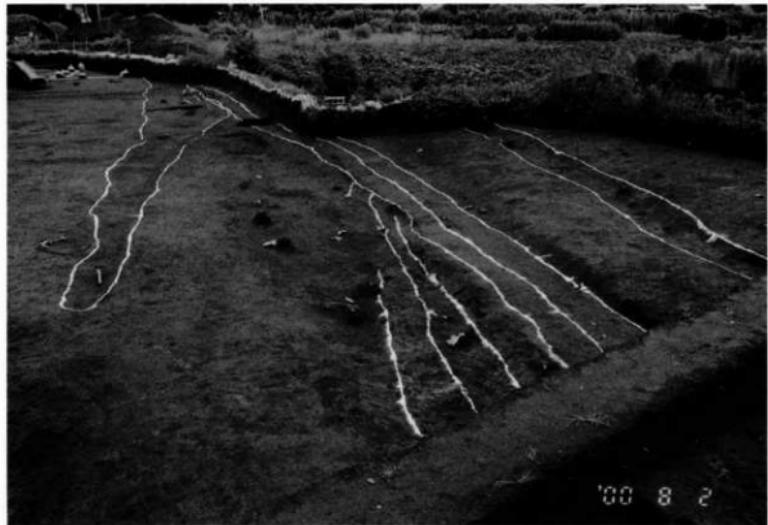
古道1調査状況



古道群1



古道群2と溝3（北から）



古道群2と溝3~5 (8区南から)



古道群2と溝5 (9区北から)

図版61



溝6, 7, 8 (奥は溝)



13区古道12・13



古道14と溝10



溝11検出状況



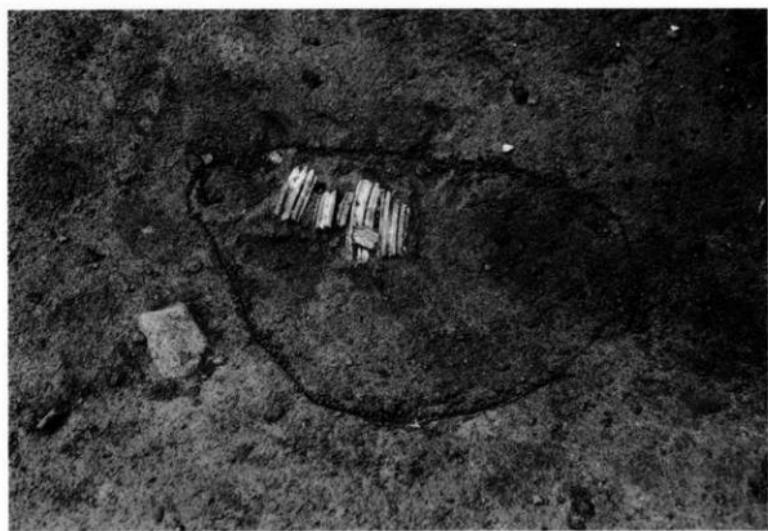
溝11完掘



溝12



溝13

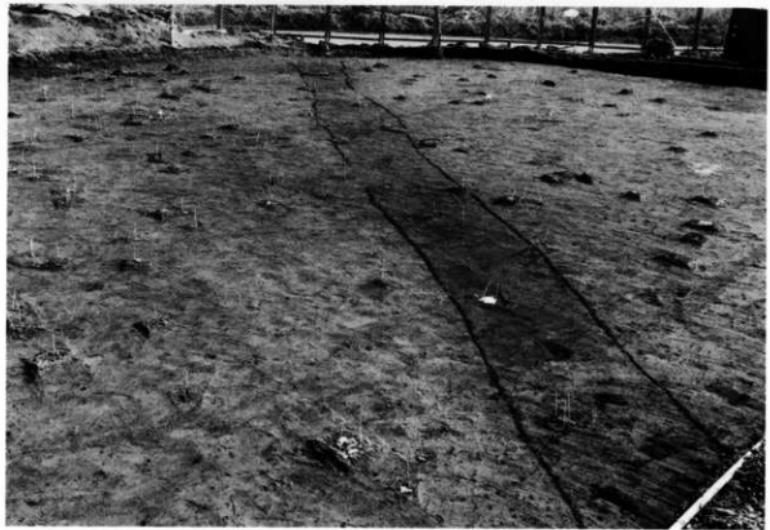


溝13内の馬の歯の土坑

図版65



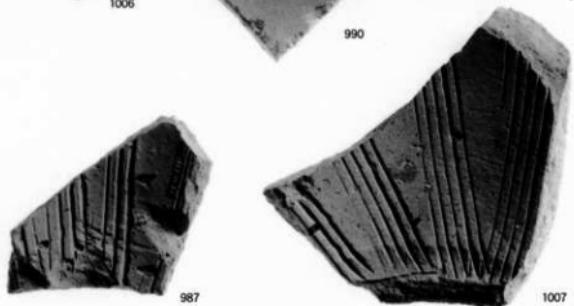
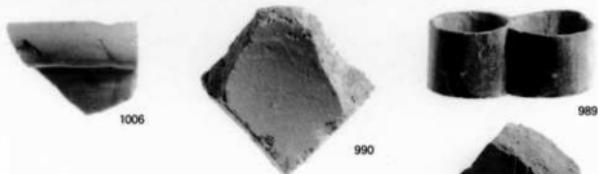
古道15



溝14



溝15（白線）溝16（手前）



中世の遺物

あとがき

発掘調査開始時、まず驚いたことは未買収用地が多かったこと、加えて買収が終了していた土地も住宅が移転していなかったことである。これで調査が期間内に終了するのかどうか不安を抱えながらの調査であった。

また計志加里遺跡、大島遺跡、京田遺跡の三か所の遺跡を同時に進め、約4kmの間を毎日何回も往復しての調査であり、買収が終了もしくは住宅が移転すると再びそこに帰るという効率の悪い調査であった。

1件の事故も作業員さんのケガもなく無事調査が終了できたのは奇跡に近いという感さえあった。

多くの汗を流して従事して下さった地元の作業員の方々をはじめ、川内市教育委員会ならびに鉄道建設公団、開発公社、JVの関係各位の方々に厚くお礼を申し上げます。

鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書（38）

九州新幹線鹿児島ルート建設に

伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ

計志加里遺跡

2002年 3月

発 行 鹿児島県立埋蔵文化財センター

〒899-5652 鹿児島県姶良郡姶良町平松6252

印 刷 株式会社 トライ社

〒892-0834 鹿児島市南林寺町12-6